



検討資料

未確定の情報が含まれています

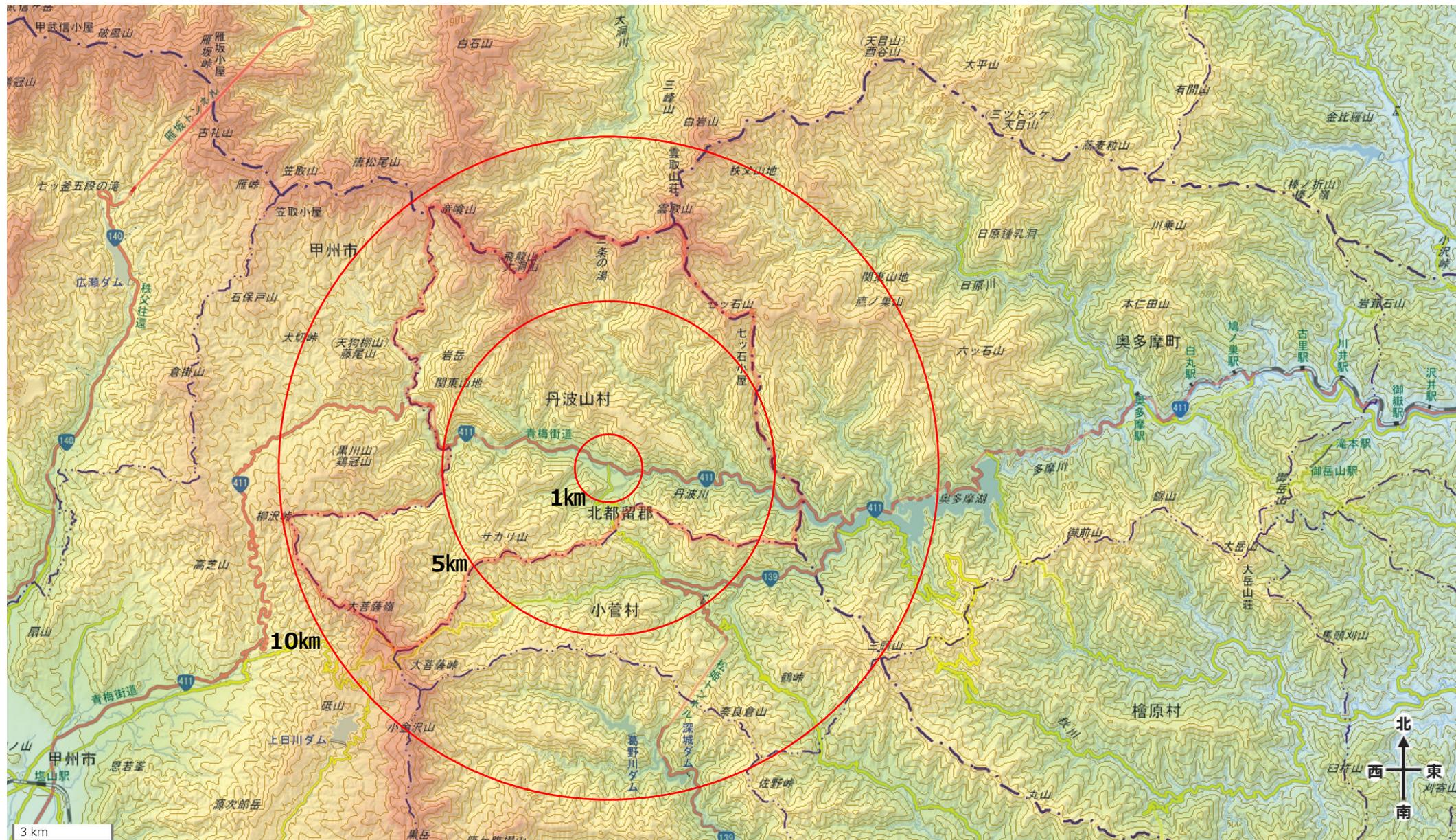
丹波山事典

丹波山村を味わい遊びそして働く、ライフスタイル提案型施設

2020年度 宿再生計画 廣瀬邸活用基本構想

株式会社 山下PMC	2021.2.4	2021.3.11
	2021.2.12	2021.3.18
	2021.2.19	
	2021.2.26	

丹波山村



丹波山事典とは

丹波山村の中心集落である丹波宿の入り口近くに立地する民家を、多目的に使えるCafé + ワークスペースとして再生して作り上げた、「リアル的事典」空間です。

丹波宿への玄関口（ゲートウエー）に、丹波山での遊び、暮らし、仕事にまつわる「7」つのテーマにまつわる「体験そのもの」を事典のように詰め込みました。

ここでは、食事の提供やモノの販売を目的とした施設ではありません。丹波山の自然、文化、営みに触れてもらう、自分だけの丹波山を見つけてもらう、そして明日への糧となるインスピレーションを感じてもらうことを目指した、ライフスタイル提案型施設なのです。

丹波山事典：7つのテーマ

■ 一：丹波食

環境に合わせ工夫から生まれた食文化

■ 二：暮らしと遊び

自然、自給自足、祭り

■ 三：多摩川源流

多摩川、夕川、アユ、ヤマメ、砂金

■ 四：山の恵み

ジビエと山菜、キノコと暮らし、森

■ 五：村仕事

木工、DIY、ワーキングスペース

■ 六：歴史と伝承

歴史と伝承、七ツ石神社、信仰

■ 七：宿場と交流

交通の要衝、情報の交換、交流と出会い

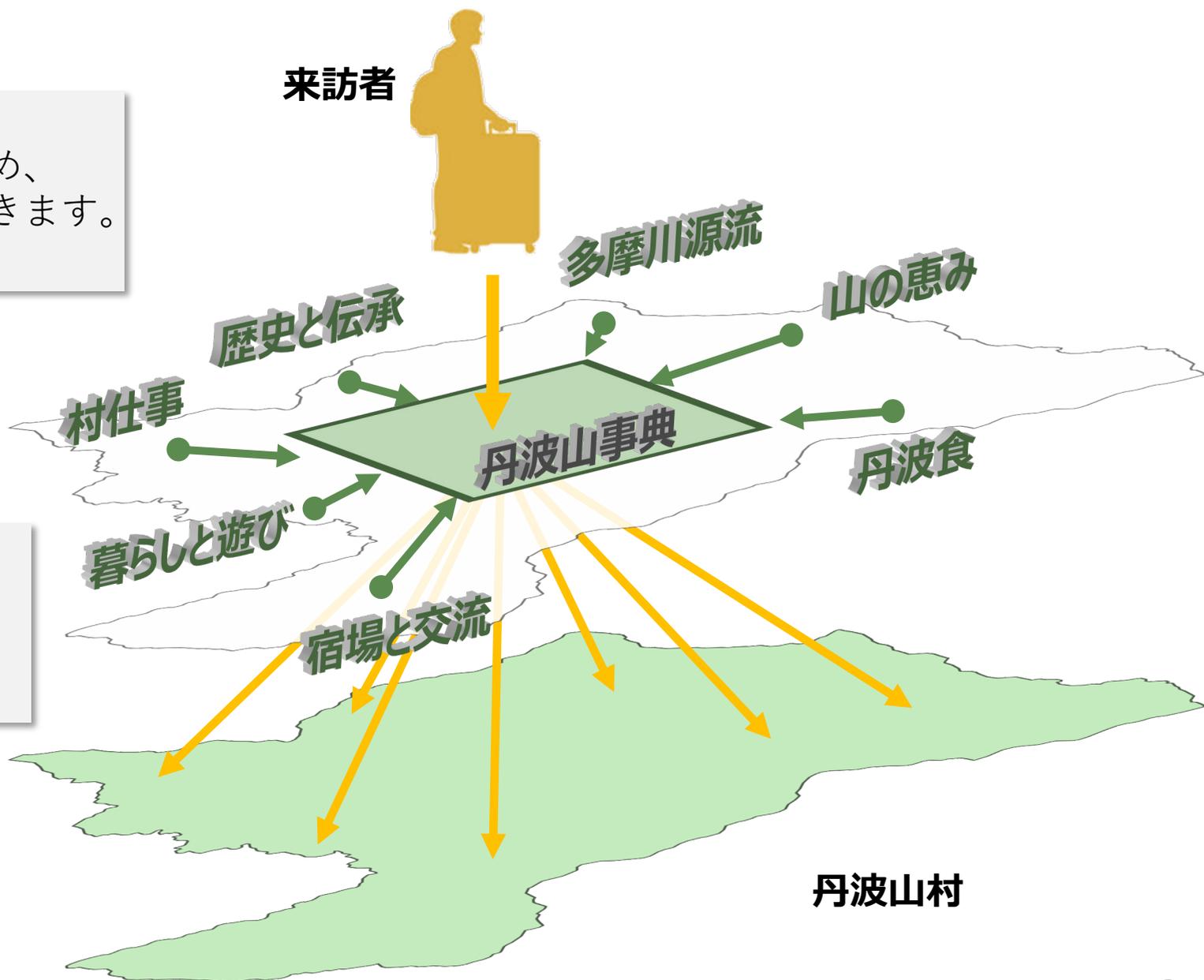
丹波山事典：街づくり関連ダイアグラム

STEP 1

丹波山村の体験を玄関口に集め、事典を開くようにアクセスできます。

STEP 2

丹波山事典をきっかけに、より深く広い自分だけの丹波山村を発見していきます。



地域活性化に対する当事業の位置づけ

SNS・Web・口コミによる丹波山の魅力

You Tubeや、SNS上の口コミによる丹波山の尖った魅力を紹介するポータルサイト立ち上げ

連動



フィードバック

丹波山辞典の位置づけ 丹波山体験のエッセンス

実地での丹波山体験の入り口、ガイドブックとして、気軽に体験捨てもらう

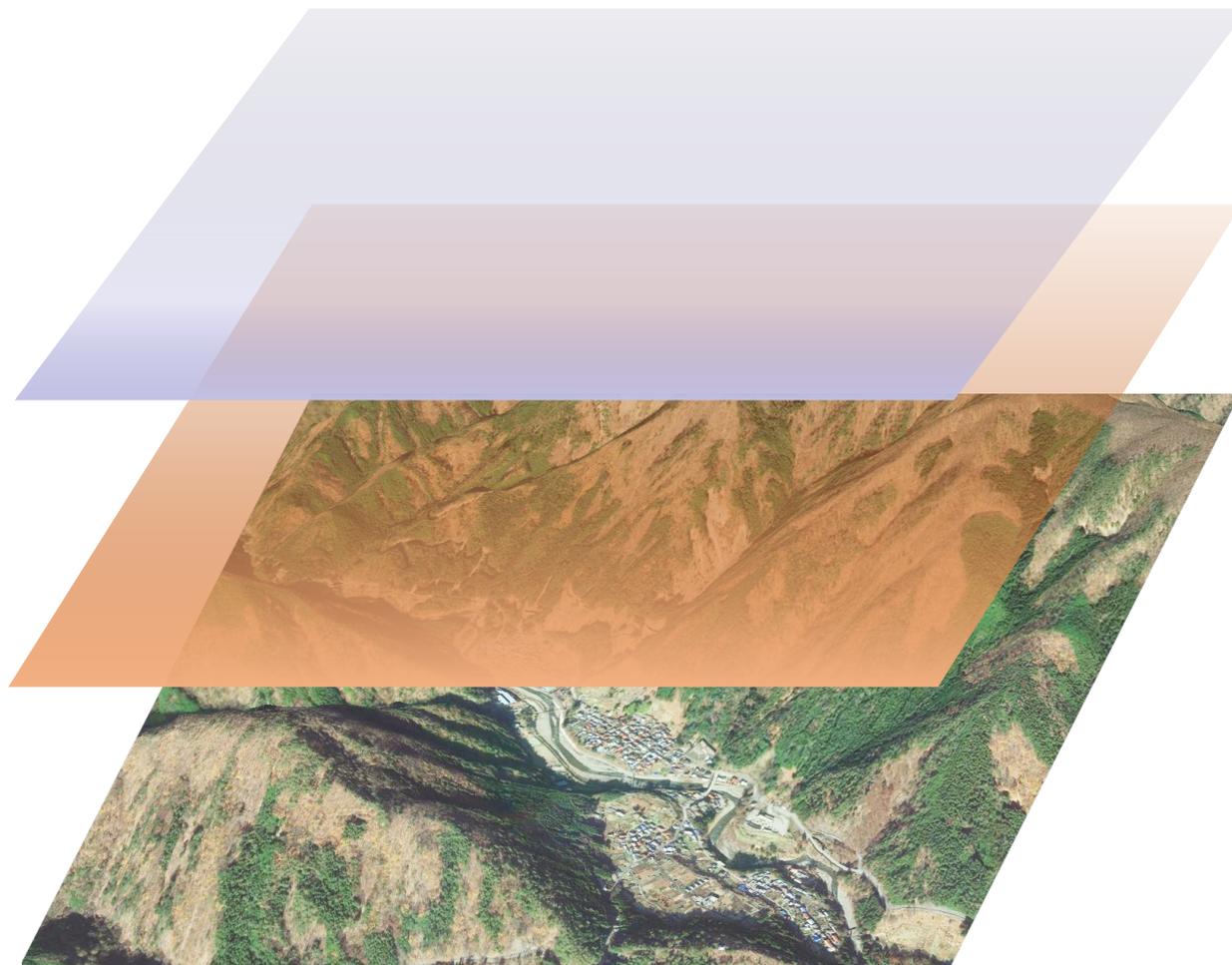
連動



フィードバック

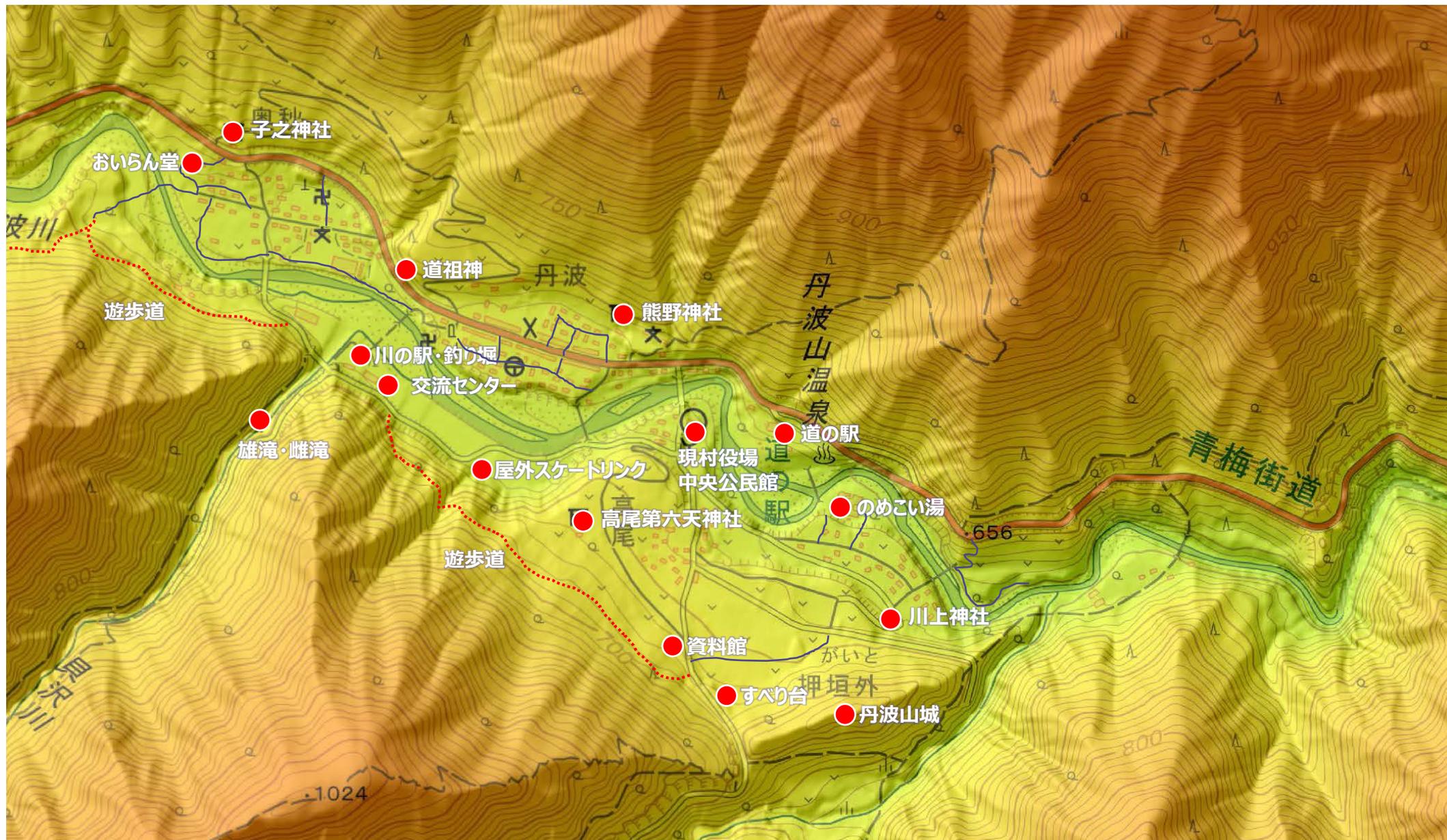
リアルな丹波山体験

実際の体験プラン、企画への参加
地域コミュニティへの参画



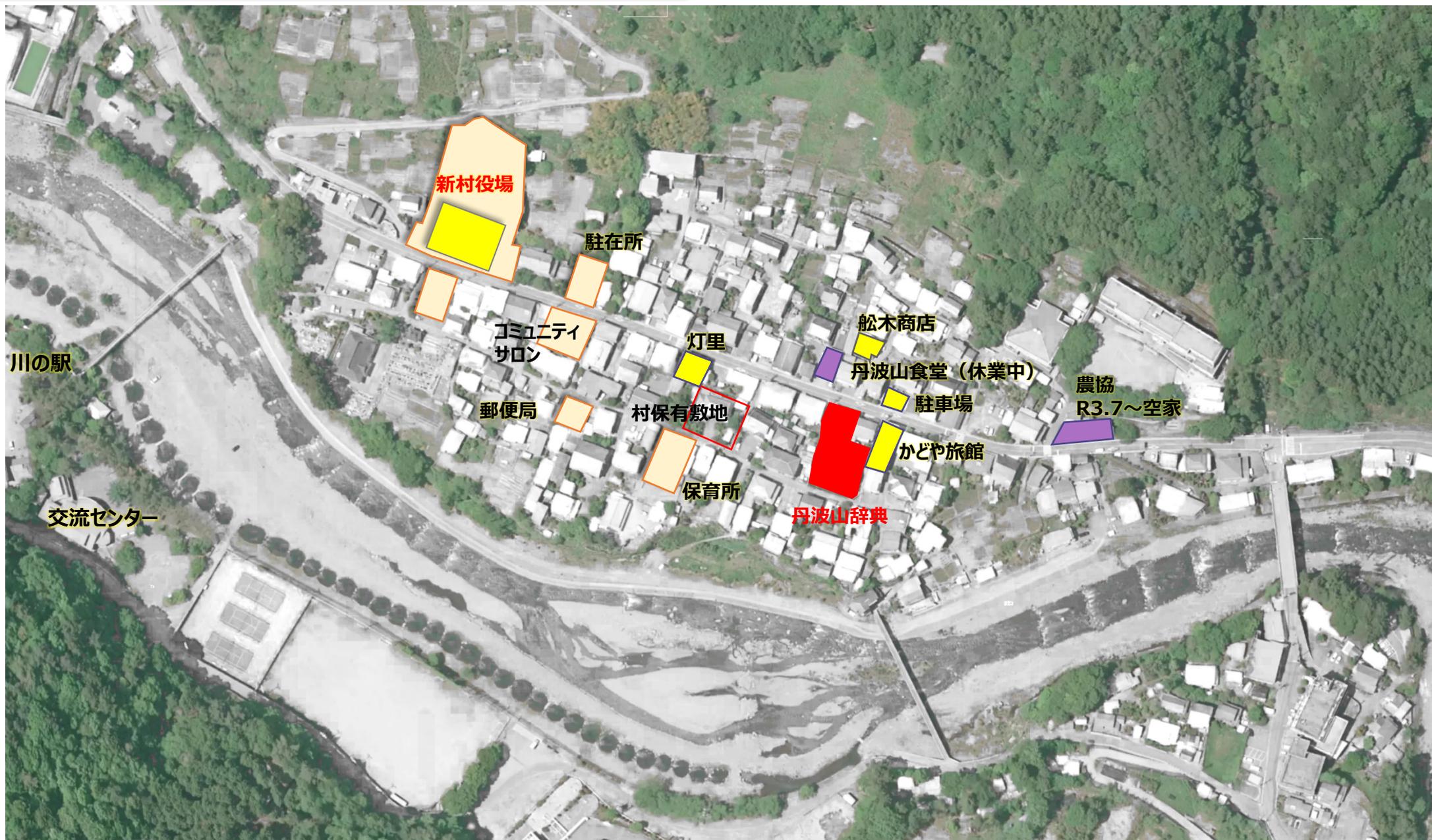
丹波山村 本村 周辺地形図

現時点での主なコンテンツ候補（本村周辺）
今後、丹波山辞典の企画に合わせてこれらを充実してゆく



丹波宿再生計画図

宿全体で、面として魅力をつくっていく
新庁舎と、丹波山辞典が連携し、役割を分担しながら間を埋めていく



旧廣瀬邸 改修の考え方

旧廣瀬邸 外観



外装

- 外壁は、村の景観に調和する杉板張りなどとすることを前提に、新材に更新する
- 屋根は、原則として現状のまま（深刻な雨漏りが発見された場合を除く）
- 外装サッシは可能であれば再利用する

1階計画

- 庭と全面道路をつなぐ通り土間を設ける（仕上げは三和土、またはテラコッタタイル）
- 店員がコンセルジュも兼ね対応できるカフェ側を設ける
- 1基の席はゆとりのあるレイアウトとする
- 1階のカウンター席は必須ではない
- CAFÉ個室やポップアップ店舗は必須ではない
- 内部建具は再利用を基本とする

2階計画

- 南側にオフィスを1部屋設け、廊下側間仕切りは、一部ガラス等とし、北側コワーキングスペースの採光を考慮する
- コワーキングスペースの床は敷居を無くしフラットにしたい
- 北側には可動間仕切り（アコーディオンカーテン、または建具）で分割して使用できる会議室を設ける
- 倉庫スペースおよび、スタッフの更衣室兼休憩場所を設ける
- コスト、空間の演出を考慮し、適宜吹き抜けを設ける

改修方針丹波山事典 改修の方針

構法

- 伝統木造の構法にはこだわらず、リーズナブルな構法を採用する。
- 丹波山村の民家の雰囲気を感じられる内観とする。

構造計画

- 耐震性の確保は、壁量計算によるグレードでよい。ただし、適度な強度の壁をバランスよく配置すること。
- 基礎については、柱脚部の足場固めを行う。その場合金物の使用も可とする。
- 構造体の腐朽対策を考慮する。

建築工事外の別途発注工事

- 厨房設備（厨房設備検討資料に基づき調整）
- 薪ストーブ
- 什器備品
- 消火器等
- 情報設備（配管のみ建築工事）

水回り計画

- 1階2階とも現状位置で、衛生器具の交換、レイアウト変更、内装更新程度の改修とする
- トイレは可能な限り男女を分ける
- 身障者対策は、L型手すり設置など住宅程度とする

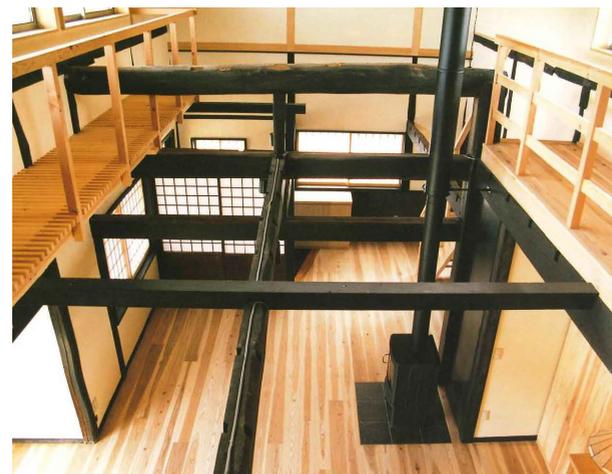
参考写真



吹き抜けによる演出、
非日常的な民家らしさ

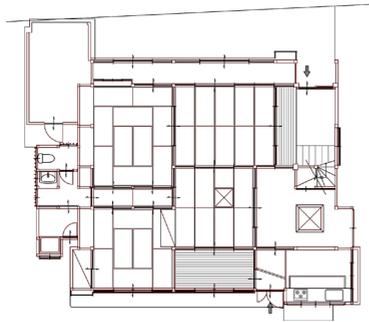


外装改修事例
サッシ交換、杉板張りに変更した事例



2階からの吹き抜けの見下ろし
上下階の一体感を作り出せる

厨房設備検討資料 1



=仕様要望1=

- * オープン、フライヤー、電子レンジ
製氷機、エスプレマシン
- * ガス(プロパン)設置OK
オール電化に今後移行
- * グリストラッパーは床埋め込み
- * 食洗器はアンダーカウンタータイプ

=仕様要望2=

- * ランチの総菜は冷凍加工技術を駆使し作り置きしストックする
- * 加工品を冷凍ストックしておくスペースと電源を考慮したい。
- * 木製器の什器の収納確保
- * 配膳と返却の導線がシンプルで単数人で動きやすい
- * 調理台での主な調理:炊飯、湯せん、煮る、蒸す
- * 作業台での主な作業:盛り付け 下処理 小分け
- * シンクでの主な作業:魚、肉、野菜の下処理
- * 客席の間隔にゆとり
- * スタッフの休憩・更衣室は2階に確保
- * シンクでの主な作業:魚、肉の下処理
- * 厨房内空調:エアコン
- * パントリー(冷凍庫・常温資材棚・兼事務機器スペース)

業態:昼:カフェ

コンセプト素案:村の内外の利用者にとって憩いの場所
シンプルに村を表現する

ターゲット:観光客・テレワーク7割 村民・子供 親子連れ3割

商品:丹波山ランチA 一汁三菜 めんぱ弁当 丹波山スタイルの食
丹波山ランチB 鮎めんぱ弁当

:丹波山スナック 鹿ドック フィッシュ(鮎・山女魚)&チップス
:丹波山ドリンクコーヒー・ソフトドリンク・八女茶
:おこじゅう(おやつ) 県内産フルーツを使ったもの ケーキ、かき氷

客単価:1000円

業態:夜:Bar

コンセプト素案:パツと飲んでサツとあがる その分いいお酒を提供

ターゲット: 村民 観光客

商品:アルコール 生ビール・日本酒・ハードリカー・カクテル

:丹波山の肴 鹿ドック フィッシュ(鮎・山女魚)&チップス 鮎干し等 加工品

客単価:2500円

厨房設備検討資料 2

廣瀬邸キッチンコンセプト①

川漁師のデエドコ

デエドコ=台所



しつらえ食器イメージ

メンパ：丹波山で使われていた曲げわっぱの呼び名 山で働く人の弁当箱

メンパを利用した盛り付け例



基本：おひつごはん・一汁三菜

一汁：おかずいらずの大椀味噌汁
三菜：丹波山のお惣菜

川のりの結び飯



食の彩時記
言葉の魅力

おぼく
ばくめし

おねり
ちゃんころりん

おこじゅう
凍みもち

豆もれい
からみそ

ねぎみそ
ドブツケ

なんばんみそ

厨房設備検討資料 3

丹波山の一汁三菜ランチ例



価格に見合った納得のボリューム感
選ぶ楽しみ、プリフィクス式
基本の一汁三菜に好きなおかずを選んで
白米はばくめしに変更可能



プリフィクスメニュー



丹波とろろ
¥200



山葵
(お持ち帰り可)
1本¥500~
たらいから好きな
山葵を選んで



丹波の山心ぐ
¥300



鮎のかあら揚げ
¥500



鮎のかあら干し炙り
¥600



鹿ロースト
¥600

厨房設備検討資料 4

丹波山のスナック例



白身魚とジャガイモを使った英国の国民的料理で世界中でなじみがある。丹波山では鮎または山女魚を使う。この2つの食材は**今後も特産品として力を注ぎたいもの**でもある。

また、手離れもよく、テイクアウトメニューとしても売れ筋商品の期待がもてる。鹿肉以外の食材PRになる。

Fish&Chips

フィッシュ&チップス



配置計画図の考え方 1:400

整備項目

来客者駐車場、駐輪場
祭りなどの際の街道との連携（縁側）

■一：丹波食

アウトドア炊事場
テラス席

■二：暮らしと遊び

蔵サウナ、グランピングサイト、
祭り展示場、

■三：多摩川源流

■四：山の恵み

燻製、ピザ窯、川魚ジビエキノコの屋外コーナー

■五：村仕事

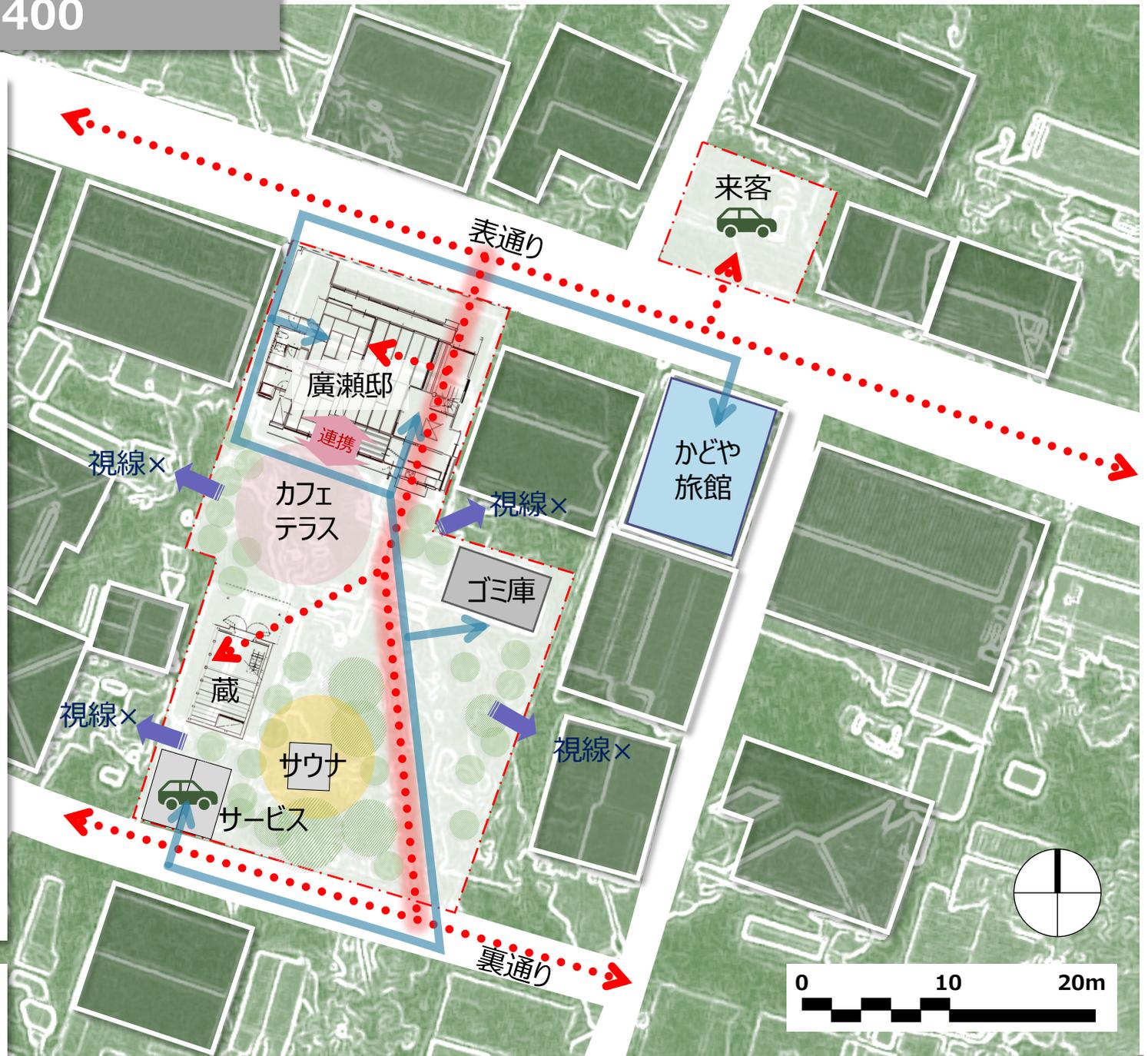
DIY工房、工具貸出コーナー

■六：歴史と伝承

七ツ石神社の再現、お札授与所、
屋外の暮らし再現コーナー
砂金体験コーナー

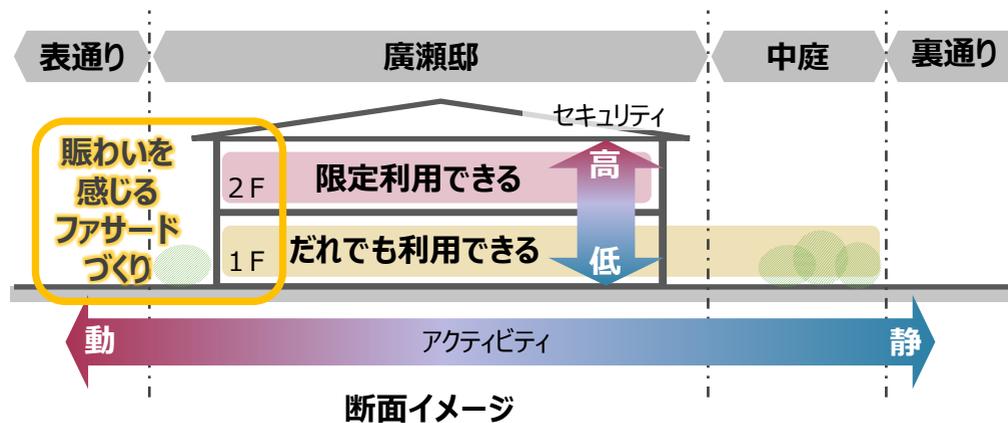
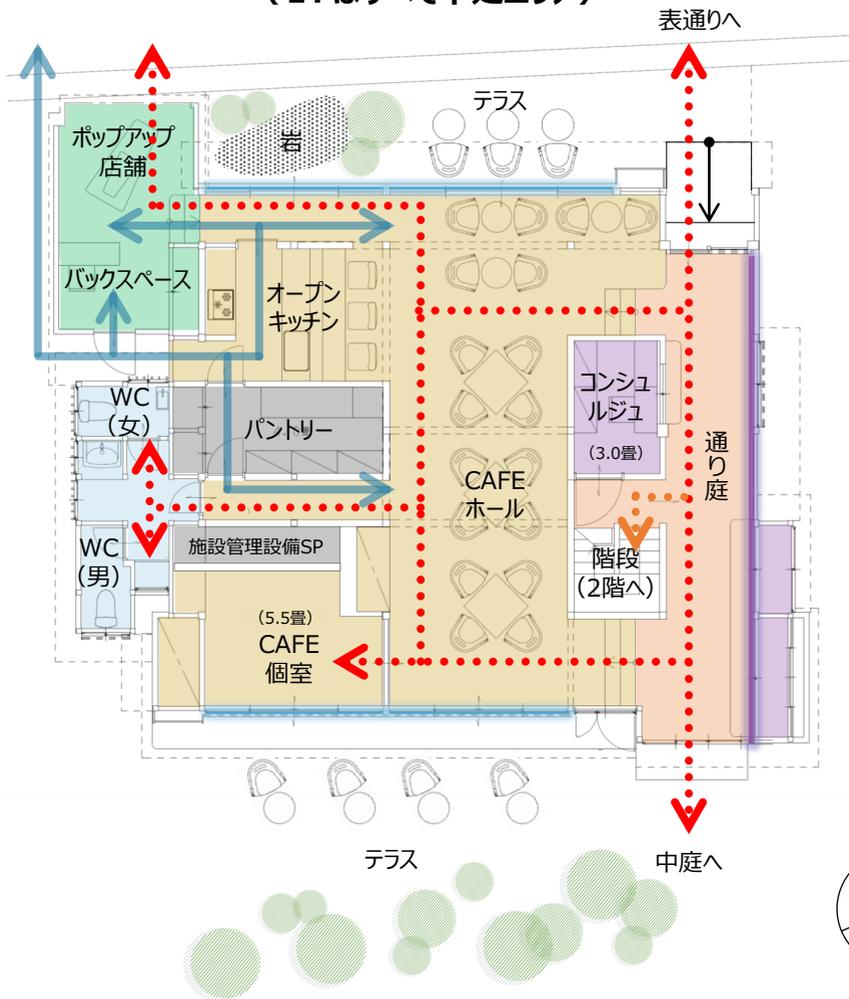
■七：宿場と交流

イベント広場
地域コミュニティ用に納屋を改装

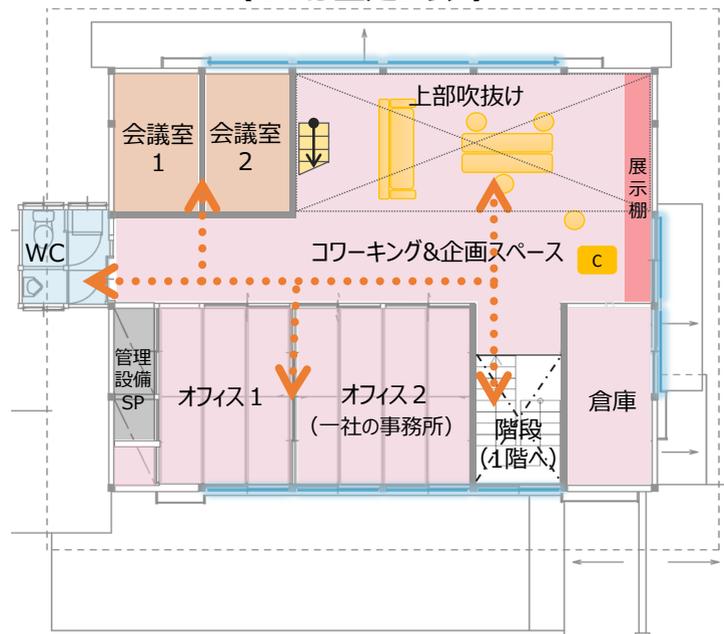


改修方針ゾーニングの考え方 (1:150)

1F 来訪者を丹波山村にいざなうカフェスペース
(1Fはすべて下足エリア)



2F 森の香りのワーキングスペース
(2Fは上足エリア)



丹波山事典の戦略：キーワード

パラダイム（典型）の転換

- マスマーケット → セグメントされたニッチなマーケット
- 平均的コスパ規模や量 → 高品質オープンプライス
- 空家の目立つ荒廃感 → 植栽・緑化個人商店・事業主の復活
- 個々点在散逸 → 線・面への展開 アルベルゴ デフィーゾ

エリア構築コンセプト

地勢的・立地による「吃水域」というコンセプト
真水と塩水が混じり合い影戀し合い、
生態系が独自の存在意義を見出す流域

都市⇔田舎 外部⇔内部 古いもの⇔新しいもの 維持⇔刷新
クラシック⇔モダン 伝統⇔革新 スピリッツ⇔テクノロジー

融合(fusion)混在(mix)した新規軸のエリア開発を標榜していく
丹波山観光の導入部
更なる深い自然、緑への玄関口の機能を担うエリアにする。

キーワード

クオリティー、クラフトマインド、オリジナリティー（個性的）、融合、スマートな混在、ハイブリッド、兼業、副業、マルチタスク、ワークシェア、ギグワーク（エコノミー）、マルチハビテーション

アルベルゴ デフィーゾというエリア開発 一分散かつ一体型装置一

レセプション（受付） ホテルフロント ツーリストセンター ラウンジ
インフォメーション多目的スペース

宿泊 ベッドアンドブレックファースト簡易宿泊
旅館民宿（長期滞在者＝マルチハビテーション対応）
〈キャンプ Airbnb風宿泊施設〉

飲食 朝食 カフェ レストラン バルトラットリア
ケイタリング デリバリー

物販 個性的専門店体験との組み合わせ
カスタマイズ・オーダー

体験・アウトドア
オプション体験 ワークショップ
農業 トレッキング シャワクラ 焚き火 野外料理
グリーンングact（自然体験）

・インドア
ワークショップ
クラフト（陶芸木エリサイクル・リメイク）
クッキング 苔・盆栽 野のフラワーアレンジメント
文化系・カルチャー教室（俳句 短歌 水彩画…）